

会 議 議 事 録

1 会議名	令和5年度 第3回社会教育委員会、公民館運営審議会
2 開催日時	令和6年2月21日（水）午後3時～午後5時
3 開催場所	長岡市中央公民館 講座室
4 出席者	<p><社会教育委員兼公民館運営審議会委員></p> <p>大竹委員、前田委員、小方委員、山田委員、藤田委員、西片委員、八子委員、富永委員、大森委員、小川委員、青柳(良)委員、大淵委員、山崎委員、青柳(与)委員、中野委員</p> <p><市関係者及び事務局職員></p> <p>伊藤市民協働推進部長、五十嵐市民協働課長、中村中央公民館長、池田係長、池澤主査</p>
5 欠席者	松井委員、後藤委員、平野委員、荒尾委員、小林委員
6 会議内容	<p>1 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 令和5年度の社会教育事業に関する取組報告、質疑応答について</p> <p>(2) 令和6年度長岡市社会教育の基本方針（案）について</p> <p>(3) 令和6年度長岡市社会教育関係団体補助金（案）について</p> <p>(4) 令和5年度自主研修のまとめについて</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 令和6年度の中央公民館の運営について（報告）</p>
7 議題の審議結果	<p>(1) 資料1・4について事務局から説明し、意見交換や情報共有が図られた。</p> <p>(2) 資料2・4について事務局から説明し、意見交換や情報共有が図られた。</p> <p>(3) 資料3・4について事務局から説明し、情報共有が図られた。</p> <p>(4) 資料5について研修委員長からまとめの発表があり、各委員からも感想を発表してもらい、2年間の事業の総括を行った。</p>
8 議題の審議内容	
委員	<p>●議題（1）について</p> <p>市では、従来の公民館活動をコミセンの活動に包含するよう進めているが、中央公民館の役割は今後どうなっていくのか、また、公民館運営審議会委員として活動・支援をする際に、コミセン及びコミセンを所管する市民協働課とどのように連携して取り組むべきかが課題となる。</p>
委員長	<p>市内の社会教育を充実させるためにはコミセンの役割が重要となるが、社会教育委員としてもコミセン活動にどのように関わっていくかが難しい。</p>

市・事務局	<p>コミセンは社会教育や青少年健全育成、福祉、防犯・防災など様々な機能を備えた地域づくりの拠点であり、全市的に公民館機能をコミセンに包含するよう進めている。皆様からは今後もコミセンの社会教育活動の充実のために、社会教育委員等の立場でご意見やご協力をいただきたい。</p>
委員	<p>科学博物館の企画展は親子連れの来場者も見受けられ、内容の充実や工夫が感じられるため、今後も続けてほしい。</p>
委員	<p>●議題（２）について ウェルビーイング向上の観点から、特に近年の法整備に伴う障がい者の学習機会の充実などが挙げられるが、こうした認識を各所に浸透させるために、関係課にとどまらず市（市民）全体にも周知が図られるよう進めてほしい。</p>
委員	<p>各重点施策の達成度などの評価基準については、市の総合計画などの基準に倣って進めてはどうか。</p>
委員	<p>人権・同和問題の意識啓発と併せて、ジェンダー問題など最近の関心事等も含めての啓発活動の推進としてはどうか。</p>
委員長	<p>周知・広報の方法が多様化しているので、市の施策や事業の情報が市民に的確に伝わるよう検討してほしい。</p>
委員長	<p>●議題（３）については、追加の質問、意見等はなし</p> <p>●議題（４）について 社会教育委員会ではこの２年間の自主研修で、『地域資源を活用した「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の在り方』をテーマに、市内４地域の団体などを視察訪問し、地域づくりにおける重要な要素は核となる「人」や「団体」の存在であることを学んだ。そして、この２年間で「学ぶ社会教育委員」を十分に実践できたので、次は「行動する社会教育委員」について考えていく必要がある。</p>
委員	<p>社会教育委員会の活動で学んだことや知り得た情報などを、自地域や所属団体等に伝える・つなげることが、社会教育委員の役割であると実感できた。</p>
委員	<p>今後、行動する社会教育委員を実践していくためには、委員同士の話し合いの機会（回数）を重ねて、情熱をもって取り組んでいく必要があると感じた。</p>
9 会議資料	別添のとおり